

# やまなみ

2019 冬  
vol.20

写真:西駒郷と中央アルプス(職員撮影)  
※写真左下が西駒郷駒ヶ根支援事業部



## 特集記事

## つながる未来へ ～西駒郷 開設50周年を迎えて～

## 連載記事

- ・事業所リレートーク
- ・チャレンジ・アクション  
辰穀うどん開発の道のり
- ・つれづれ福祉  
地域と共に就労移行を目指す 小春日和の挑戦 その2
- ・トピックス／人事異動／プレゼント

**50周年  
記念動画を  
公開中です!**



昭和43年に開設した西駒郷は本年で50周年を迎え、11月15日に記念式典を開催しました。その中で上映した、西駒郷開設当初から現在至るまでをまとめた動画「つながる未来へ」を西駒郷ホームページにて公開中です。是非アクセス下さい！(要:HTML5対応ブラウザ)



今年は、「亥（いのしし）」年です。「亥（がい）」には、元々「閉ざす」という意味があり、草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表していると言われています。人の生き方に例えるならば次の芽吹きに向かって固い種の中でエネルギーを蓄える年とのことです。「亥」のごとくしっかりと将来への考えをまとめる年となります。

今年は、亥（いのしし）年です。「亥（がい）」には、元々「閉ざす」という意味があり、草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表していると言われています。人の生き方に例えるならば次の芽吹きに向かって固い種の中でエネルギーを蓄える年とのことです。「亥」のごとくしっかりと将来への考えをまとめる年となります。

今年は、亥（いのしし）年です。「亥（がい）」には、元々「閉ざす」という意味があり、草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表していると言われています。人の生き方に例えるならば次の芽吹きに向かって固い種の中でエネルギーを蓄える年とのことです。「亥」のごとくしっかりと将来への考えをまとめる年となります。

今年は、亥（いのしし）年です。「亥（がい）」には、元々「閉ざす」という意味があり、草木の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表していると言われています。人の生き方に例えるならば次の芽吹きに向かって固い種の中でエネルギーを蓄える年とのことです。「亥」のごとくしっかりと将来への考えをまとめる年となります。

この冬は雪が少なく、西駒郷の近くでは梅が開花するなど、春の気配も感じられるようになります。皆様のお住まいの地域はいかがでしょうか。

昨年は、西駒郷にとりまして開設50周年という大きな節目となる年でした。改めて、これまでにご支援いただきました多くの皆様にお礼申し上げます。そして年が明けました今年は、新たな半世紀に向かうスタートの年となります。

これから西駒郷はどのような方向に向かうのか定めなくてはなりません。



**西駒郷開設50周年を終えて**

長野県社会福祉事業団  
上伊那南部ブロック長  
西駒郷所長  
塩沢 総夫

す。幸いに時を同じくして「西駒郷整備検討会」が開催され今後の西駒郷のあり方が検討されています。同検討会には、西駒郷の指定管理者である当事業団としても長きにわたり運営してきた経験を基に意見を述べていきます。

障がい福祉の流れは、確実に共生社会を実現する方向に向かっています。社会福祉法人にはそのための核となる使命があります。その具体的な取組みは当事業団においては、西駒郷をはじめとする長野県下各地に点在する18事業所に付託されます。各事業所が活躍することで共生社会の実現は点から面へと広がり目指すべき社会の実現に近づくと考えます。このことをしっかりと当事業団職員が自覚し、それぞれの事業所が地域でますます有意義な存在として高められるよう努めてまいります。

今後とも関係者の皆様のご理解とご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

# 西駒郷開設50周年を迎えて

長野県西駒郷（以下「西駒郷」と表記）は、昭和43年に県内全域を対象とした定員500名の総合援護施設（コロニー）として開設され、本年度大きな節目となる50周年を迎えることができました。

長野県社会福祉事業団は、開設時より給食業務や一部事業を県から受託し、平成17年度からは指定管理者として西駒郷全体の管理運営を行うなど、開設時より半世紀にわたりその運営に携わってきました。

この間、国の障害福祉施策は、平成15年度に「支援費制度」、平成18年10月には「障害者自立支援法」（平成25年4月に「障害者総合支援法」に名称変更）が施行されるなど、障がい者を取り巻く環境はめまぐるしく変化してきました。

また、平成16年3月に取りまとめられた「西駒郷基本構想」に基づき、利用者の計画的な地域生活移行を推進するとともに、入所定員を順次縮小した結果、平成31年1月現在の定員は123名となっています。

今回の「やまなみ」では西駒郷の50年を振り返るとともに、この先の50年「つながる未来」を考えたいと思います。

昭和												年
52年	49年	46年	45年	44年		43年	42年	41年	40年	39年	38年	
4月	7月	4月	3月	5月	11月	8月	7月	2月	10月	4月	月	年
生業部門・長野県社会福祉事業団へ業務委託	開所5周年記念式典実施（西駒郷の歌・シンボルマーク制定）	保護部門発足	西駒郷竣工式	心身障害者対策基本法（障害者基本法）施行	生業部門発足	①皇太子、同妃両殿下來所	西駒郷開設・更生訓練部門発足	給食業務を長野県社会福祉事業団に業務委託	コロニーの名称を「長野県西駒郷」と決定	地鎮祭及び起工式	知的障害者援護施設の県立設置について検討開始	主なできごと



## ⑥「障害者総合生活支援センターふくいん（福島県）」の利用者受入（H23.3～4）

東日本大震災、そしてその後の東京電力福島第1原発事故の被災者受入について、福島県からの要請を長野県が受け、平成23年3月24日から4月15日までの間、西駒郷で一時受入をしました。この間、救援物資の受付を行うとともに、ボランティアの呼びかけを行い、県内外の法人等から18名が西駒郷に駆けつけてくださいました。



## ③西駒郷基本構想策定（H16.3）

平成16年3月に「西駒郷基本構想」が策定され、「5年間で利用者250人程度の地域移行の方針」が示されました。これを受け、民間入所施設を含む長野県全域で「地域生活移行」が本格的に始動し、事業団は西駒郷の指定管理者として本事業を積極的に推進する中核的な役割を担いました。この取組みはいわゆる「長野モデル」として注目を集めました。



## ⑤更生訓練部さくら寮（現さくら支援課）開設（H19.11）



## ④自立生活訓練棟「すみれホーム」開設（H17.3～）

入所施設以外の生活を希望される方に、希望する期間生活していただき、ご本人に合った生活を知るためのお手伝いをしています。（※S59.12に「自立促進ホーム」としてスタート）



**②生き物の飼育**  
(S52.12~H22)  
昭和52年12月25日、クリスマスプレゼントとして名古屋の東山動物園から“ヤクシカ”と呼ばれる小型の鹿と、東京の上野動物園からキジのオス三羽を、生業部（現在のわーく宮田）の一員として譲り受けました。その後も平成22年頃まで羊やダチョウ、犬、チャバなど様々な生き物を飼育していました。



**①皇太子、同妃両殿下來所 (S43.8)**  
先導役を務めた第2代所長義家敏氏は、「西駒郷10年を語る座談会」(S53.5.30)において、「非常に熱心にご視察され、私がご説明申し上げた際、お二人がいろいろと親しくご質問なされ、そのお人柄に深く感激した」と話しています。

31年	30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	21年	20年	19年	18年	17年	16年	15年	14年	13年	12年	11年	10年	6年	63年	59年	56年				
4月	11月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	1月	4月	3月	4月	1月	4月	3月	11月	10月	4月	4月	3月	1月	3月	2月	7月	3月	4月	7月			
③	西駒郷開設50周年式典開催	自活訓練棟「アカシアホーム」閉鎖	長野県西駒郷あり方検討会が報告書を策定「新たな県立施設の役割の方向付け」	第4期目の指定管理期間を長野県社会福祉事業団が受託見込み	障害者差別解消法施行	障害者権利条約批准	第3期目の指定管理期間を長野県社会福祉事業団が受託	駒ヶ根支援事業部あすなろ支援課閉鎖	駒ヶ根支援事業部わーく宮田にて就労移行支援事業を開始	駒ヶ根支援事業部駒ヶ根日中支援課内の生活訓練事業休止	新事業体へ移行	新設まつばホームにて自活訓練事業を実施	⑥東日本大震災発生、被災した福島県いわき市の「障害者総合生活支援センターふくいん」の利用者と職員計80人を受け入れ	⑤更生訓練部さくら寮（現さくら支援課）開設	障害者自立支援法施行（三障害共通の制度へ）	更生施設（更生訓練部・保護部）に通所更生部門を開設	生業部まつば女子寮閉鎖	地域移行推進部発足・西駒郷地域生活支援センタ（県現地機関）併設	長野県社会福祉事業団が指定管理者として運営開始	知的障害児施設の指定廃止、自律支援部廃止	生業部まつば男子寮閉鎖	④すみれホーム開設（自立生活体験棟）	開所20周年記念式典実施	アカシアホーム開設（自活訓練棟II旧自立促進ホーム）	長野バラリンピック冬季競技大会開催	発達障害者支援法成立	自立促進ホーム開設	国際障害者年	②名古屋の東山動物園からヤクシカを譲り受け飼育開始
④	西駒郷基本構想を策定「5年間で250人程度の地域移行の方針決定」	開所30周年記念式典実施	アカシアホーム開設（自活訓練棟II旧自立促進ホーム）	長野バラリンピック冬季競技大会開催	発達障害者支援法成立	自立促進ホーム開設	国際障害者年	②名古屋の東山動物園からヤクシカを譲り受け飼育開始																					



### ⑧西駒郷開設50周年式典開催

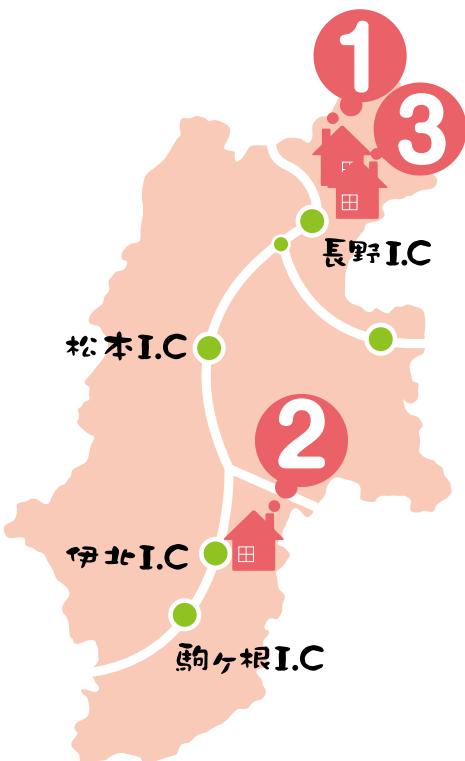
西駒郷の開設50年を祝い、記念式典と記念講演を開催しました。（詳細はP4参照）



### ⑦新事業体系へ移行 (H23.4)

西駒郷は平成23年4月、障害者自立支援法に基づく新事業体系への移行に伴い、約40年間続いた組織体制を大きく改変しました。中でも特徴的なのが、西駒郷の長年の夢であった食品製造・販売を行う「わーく西駒」（就労継続支援A型）のスタートです。どちらやきや豆腐、焼き菓子の製造と販売を行い、地域の皆様にもご好評いただいている。





## ① みのちグループホームセンター

～希望に寄り添った支援を～



みのちグループホームセンターは、平成31年1月1日現在、現員62人の利用者の平均年齢が66.1歳で、デイサービス利用者が20人（33.3%）です。そのような中、利用者はもちろん、御家族と将来について相談しながら利用者に合った介護保険サービス等の利用を進めています。

最近の傾向としてお墓参りや実家への帰省を希望される利用者が少な

くありません。きっと歳を取ると、故郷や御先祖様への思いが強くなるのでしょうか。できる限り希望を叶えようと希望に沿った計画をし、実施しています。年々御家族とも会える機会が少なくなっているので、再会した時の感動は支援者も代えがたい瞬間（とき）です。

これからも、できるだけ利用者の希望に沿った支援に努めたいと思います。（高橋）



## ② ほっと上伊那

～支援の想いや気付きの学びあい～

ほっと上伊那では約120人の世話人・ヘルパーが働いています。福祉に関わる仕事や勉強をしてきた方ばかりではありません。毎月1回のホームごとの世話人

会議、年2回全体世話人研修で、支援の想いや気付きを学びあっています。

今年度は全体研修を5月29日に実施しました。知的障がい者の特性についての講義と、「ホームでの困り感」をテーマにグループワークを行いました。最初は初対面

の緊張感もあり、それぞれ担当ホームの特徴も違うため、なかなか話が噛み合いませんでしたが、ホームの

世話人会では言えない仕事への想いや、世話人ならではの共通の悩みも多くあり、最後は時間が足りないぐらい活発な議論や交流が出来ました。

今後とも利用者さんとのより良い関係を保てるよう励んでいきます。（藤原）



## ③ 長野県障がい者福祉センター サンアップル

～いきいき運動フェスティバル～



長野県障がい者福祉センター「サンアップル」はスポーツ・レクリエーション、文化活動等を通じて、障がい者の健康増進と社会参加の促進を図るため、平成10年4月に開所しました。近年、障がいのある・なしに関わらず“健康”への関心、重要性が非常に高まっています。そのような中、サンアップルも昨年度より「いきいき運動フェスティバル」を開催しています。第2回目となる今回は9月30日（日）、サンアップル体育館にて身体組成測定、体力測定、脳トレチェック、食習慣アドバイス等のブースを設け、日頃の自分の健康状態を把握してもらう機会にしてもらいました。またステージプログラムではヨガやフラダンス、肩こり腰痛予防体操など誰もが楽しく体を動かし、健康への意識を高めて頂くことができました。これからもより多くの方が健康になるためのサポートをしていけたらと思います。是非皆様、次回ご参加ください。（三浦）



各事業所におけるさまざまな「チャレンジ」を紹介するコーナーです。

# チャレンジ・アクション



左から2番目がネーミング考案者の宮澤司さん

この度、雑穀の粟ときびを混ぜた生麵「辰穀うどん」を開発しました。新商品の開発について、辰野町地域おこし協力隊の山浦さんに相談したところ、辰野町では食分野のブランド確立と6次産業化を目指す官民連携組織「食の革命プロジェクト運営協議会『雑穀の里プロジェクト専門部会』」が中心となって、もち粟とともに栽培が行われていたこともあって、生産者である青木さんをご紹介いただき共同開発を進めてきました。また、雑穀と小麦の配合について長野市から現代の名工である齋藤洋三先生を招き指導していただきました。

商品の名前については町内の関係機関に名前募集のチラシとBOXを置かせていただき、集まつた意見の中から響きがよく、辰野も雑穀もかかっている名前に決定しました。

## 辰穀うどん開発の道のり

辰野町障がい者就労支援センターではこの度、雑穀の粟ときびを混ぜた生麵「辰穀うどん」を開発しました。

新商品の開発について、辰野町地域お

こし協力隊の山浦さんに相談したところ、辰野町では食分野のブランド確立と

6次産業化を目指す官民連携組織「食の革命プロジェクト運営協議会『雑穀の里

町内で6次産業化を推進する「辰野町食の革命プロジェクト」で取り組んでいる「雑穀」を活用した「辰穀うどん」がどう販売される運びになりました。せひ町外の方にも「工房ぬくもり」を知りたい、「辰穀うどん」を買い求めて来ていただきたい。そして多くの皆様に愛される、辰野町が誇れる特産品になつてほしいです。

## 山浦泰さんの想い

私は2年前に農業を始めました。ふとしきつかけから近所の方に「もちきびの種」を頂き、栽培しました。子供のころに食べた事もあり、懐かしく思っていました。農業初心者の私が、いろんな方に教えていたりながら、化学肥料を使わず、無農薬で作っています。農業を始めてよかったです。人に喜んでもらえるやりがいのある仕事です。



## ひろっこファーム 青木博子さんの想い



## 「辰穀うどん」

辰野の辰に雑穀の穀で「たっこくうどん」と読み辰野町をイメージできるネーミングとなりました。

## 工房ぬくもり 支援員吉野の想い

地元である辰野町産の雑穀を使用した生麵を販売するにあたり、商品のパッケージデザインも新しました。より魅力的な商品として、更なる販路拡大に役立てていきたいと思います。雑穀農家や雑穀プロジェクトの方との横つなぎを今後も大事にしながら、辰野町の活性化のためにセンターより組んでいきたいと思います。



## 第2回あわマルシェ 11/24 約100人

辰野町食の革命プロジェクト主宰のイベントに出店し、辰穀うどんの名前発表、考案者への記念品贈呈、そして辰穀うどんの試食、販売を行いました。



## 商品の特徴



[ゆで時間5分] あたたかくて食べる場合も、ゆでたら冷水でしめてぬめりをとるとよりモチモチした食感が楽しめます。



## ぬくもりのネット販売について

12月からネット販売ページがオープンしました。工房ぬくもりでは初めての試みです。是非ページを覗いてみてください。皆様のお買い上げお待ちしています!!

地域と共に就労移行を目指す

# 小春日和の挑戦

その2

\*その1はやまなみVol.9をご参照ください



「住み慣れた町で自分に合った仕事を見つけたい」－こんな想いを叶えられるよう、平成24年4月に就労移行支援事業所としてオープンしました。（平成26年4月から就労継続支援B型事業も開始）地域の皆様に支えられながら、一般企業等での就労を希望される障がいのある方に就労に必要な技術やマナー等を身に付けていただくとともに、就職活動に関する支援、職場開拓、就職後の職場定着に必要な支援を行っています。（河原崎）

## 施設外就労の取組み

小春日和では、新たに昨年の8月から施設外就労として町内にある『チャーリーのえのき工場株式会社』様で、毎日（午前3時間、午後2時間）行っています。6月に新工場が町内に完成したことを知り、見学や実習を重ねて、施設外就労先として正式に契約していただきました。

実際に企業で働くということを勉強するため、今年度4月に入つたばかりの6名のフレッシュな就労移行を目指す

和用者之筆者存

「住み慣れた町で自分に合った仕事を  
小春日和とは

※その1はやま

ただいたり、何か月か働く中で一緒に働く人と協力することや周囲の状況を見ながら自分から考えて動くことが少しづつできるようになるなど、働く事に対する意識の変化や成長が見られるようになりました。

おかげで11月には1名、更に12月にもう1名が別の会社ですが就職が決まりました。自分が近い将来「就職（就きたい職業）」ということを意識して働くことで実際に就職した時にも施設外就労の経験が大変役立つものと思われます。

A person wearing a white hairnet and a white face mask, standing over a cardboard box filled with white containers.



写真①ジャズ日和(30.12.8)



写真②ジャズガーデン(30.8.18)

誰もが楽しめるイベントとして定着『ジャズ日和』

小春日和では、たくさんの方に施設を知つてもらひ、地域の方が自然と集まる場となることを願つて、定期的にイベントを開催しています。開所当初から始めた音楽と食事を楽しむイベントで、イベントをきっかけに通つていただけるようになり、毎回大盛況です。

去る12月8日(土)に行われた、通算15回目の開催となつたジャズ日和(写真①)は、ジャズの定番曲やクリスマスソング、聞き馴染みのある邦楽など全17曲を披露していただき、参加者はクリスマスディナーを楽しみながら、うつとり聞き惚れたり手拍子で盛り上がりがつたりしながら、あつという間の贅

定期的に開催している『ジャズ日和』が好評のため、昨夏はピアガーデンとジャズ日和を合体させた初のイベント『ジャズガーデン』(写真②)も開催し、大いに盛り上りました。これからも地域の皆様の良き交流の場となれるよう楽しいイベントを企画・実施していくたいと思います。

# 1

## 介護福祉士修学資金等貸付事業

- (1) 介護福祉士・社会福祉士修学資金貸付事業  
(月額 50,000 円以内ほか)
- (2) 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業 (200,000 円以内)
- (3) 離職した介護人材の再就職準備金貸付事業 (200,000 円以内)



## 各種資金貸付事業を利用してみませんか？



## トピックス

長野県社会福祉事業団では、次の資金貸付事業を行っています。

この事業は、一定の条件を満たすと貸付金の返還が免除されますので、介護や保育の仕事を志す方、資格を取得しステップアップを目指す方、自立を目指す方などにやさしい制度です。各事業により募集期間や対象者、貸付等の条件が異なります。詳しくは事業団（本部事務局）ホームページからご確認ください。（黒字の事業は随時募集、赤字の事業は平成31年4月中に募集を行います）



# 2

## 保育士修学資金貸付等事業

- (1) 保育士修学資金貸付事業 (月額 50,000 円以内ほか)
- (2) 保育補助者雇上費貸付事業 (年額 2,953,000 円以内ほか)
- (3) 未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付事業 (月額 27,000 円以内)
- (4) 就職準備金貸付事業 (400,000 円以内)
- (5) 未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付事業 (年額 123,000 円以内)



# 3

## ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

- (1) 入学準備金貸付事業 (500,000 円以内)
- (2) 就職準備金貸付事業 (200,000 円以内)



# 4

## 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

- (1) 生活支援費 (月額 50,000 円以内)
- (2) 家賃支援費 (家賃相当額)
- (3) 資格取得支援費 (250,000 円以内)

### お問い合わせ

〒380-0928 長野市若里七丁目1番7号  
長野県社会福祉総合センター5階 Tel: 026-228-0337

## プレゼント



### 西駒郷「信州まめ匠」

#### 支援員

**肥野 美和子**からの  
メッセージ

### 「西駒郷50周年 お祝いプレゼント♪」



50年のあゆみの中で、就労継続支援A型事業所「信州まめ匠」からお茶の間に手作り豆腐としつくり美味しいスイーツを届けて8年!地元産100%の大豆で絞る自家製豆乳は上質でコクがあつてまろやかな高級味☆その自慢の豆乳を入れて作る生地はもちもちしっかりと、たまらない味に仕上がります。この度新商品として、豆乳入りマフィンが登場しました。50周年の祝いを込めて、シンボルマークの焼印が入った特製駒天どら焼きと豆乳マフィンをセットにして5名様にどーんとプレゼントいたします。ふるってのご応募お待ちしています。

事業団だより「やまなみ」の感想や今後掲載してほしい内容等について、①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号を記載のうえメールまたは郵便はがきにて法人本部（事務局）までお寄せ下さい。

5月末までにお寄せいただいた方の中から抽選で5名の方にプレゼントいたします。

なお、当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。  
(プレゼントの発送は6月頃を予定しています。)



**第8回  
信州駒天駅伝大会  
結果報告** [平成30年10月27日(土)]

区分	順位	チーム名/参加者名	所属
団体	1位	きずな	(医)齊藤診療所
	2位	ほっと上伊那	ほっと上伊那
	3位	東京バナナ	(医)齊藤診療所
個人 1.5km	1位	春日教生	(医)齊藤診療所
	2位	片倉千寛	(医)齊藤診療所
	3位	小池風太	ほっと上伊那
	1位	奥田麻衣	(医)齊藤診療所
	2位	宮沢美樹	(医)齊藤診療所
	3位	澤井亜由美	(医)齊藤診療所
個人 750m	1位	下小路勝	ほっと上伊那
	2位	原弘志	ほっと上伊那
	3位	宮澤薰	ほっと上伊那
	1位	竹内虹花	(医)齊藤診療所
	2位	羽澤淳子	西駒郷
	3位	北原紀香	(医)齊藤診療所

## 編集後記

今回の「やまなみ」では西駒郷設立50周年を特集記事とさせていただきました。

この50年で福祉制度の大きな変更等もありましたが、この先の50年も当事業団の経営理念に基づき、利用者の夢に職員が情熱を注ぎ、地域と連携しながら、より豊かな暮らし、誰もが笑顔で輝く社会の創造を目指したいと思います。(森)

（平成30年10月1日）  
**本部事務局**  
企画課長／北沢好宏（障が  
い者福祉センタースポーツ  
課専門幹）、主事／土屋美  
香（松本ひよこ主事）  
**西駒郷**  
さくら支援課長／藤原香澄  
（西駒郷）  
**上伊那圏域障がい者総合支  
援センター**  
専門幹／瀧田琢也  
（本部事務局企画課長）  
さくら支援課長／伊那園

（平成31年2月28日）  
**西駒郷**  
主事／野口和晃  
**退職**  
（平成30年12月31日）  
**みのちグループホームセンター**  
支援員／高橋直貴  
**西駒郷**  
主事／相馬さおり  
**人事異動**

掲載記事の内容等についてのお問い合わせ及びプレゼントの応募はこちらまでお願いします。



社会福祉法人  
長野県社会福祉事業団

〒380-0928 長野市若里七丁目1番7号 長野県社会福祉総合センター5F  
tel : 026-228-0337 fax : 026-228-0310  
URL : <http://park19.wakwak.com/~nagano-shafuku-j/>